



さらに利用しやすい
子育て支援の仕組みを！



中土井 かおる (みらい)

問／必要な時に遠慮せずに利用したいサービスが選択できるよう、先駆的な取り組みを参考に、子育てチケット制の導入を検討してはどうか。

答／一つの手段として有効かどうか十分に研究し、採用について検討していく。

男性の育休制度の利用促進を！

問／子育てしやすい環境づくりのためには男性の育休取得促進が必要である。市の男性職員の育休制度の利用状況と取得率向上の取り組みは。

答／令和2年度が13・6%、令和3年度が28・6%、令和4年度は75%であった。取得率向上のために育休取得経験のある男性職員を助言者とした相談窓口の設置や、育休取得後の業務調整や代替え人員の配置等を行った。

障害のある人の社会参加促進へ向けて

問／現在、障害のある人の社会参加を促進する事業としてタクシー利用券や自動車燃料費助成などがあるが、障害のある人の中には就労のためにバスを利用している人も多いと聞く。就労継続のためにも経済的支援としてバス利用券の導入を検討できないか。

答／制度を利用している方々や心身障害者福祉団体の声を聞き、ニーズの有無を確認した上で判断し、賃金向上の取り組みにも力を入れる。



水道スマートメーター
の活用



山田 忠晴 (公明党)

問／水道使用量を自動で測る「水道スマートメーター」は、事業効率化に有効と考えるが、当市の取組状況は。

答／令和3年度から10地点にスマートメーターを設置しており、水道管の凍結被害を受けた地域にも設置するなど、実証試験を継続していく。

離婚した家庭の養育費確保に向けた制度導入

問／ひとり親世帯への養育費不払いを防ぐため、様々な支援体制を導入する考えは。

答／県が実施した支援事業の内容や実績を踏まえ、支援の在り方や制度設計の検討を進める。

難聴者の会話サポート

問／市役所木田庁舎や各総合事務所の窓口等に難聴者と円滑に意思の疎通が図れるよう、「軟骨伝導イヤホン」を導入する考えはないか。

答／難聴者の方々に対してスムーズな窓口対応が可能になると想定されるため、本格的な導入、設置について検討する。

認知症介護の負担軽減

問／認知症介護の負担軽減のため、居場所が確認できるGPS端末を貸与する制度の導入は。

答／いち早く発見できるメリットがあることから、ニーズや効果、課題について研究していく。



ヤングケアラーに
早期・必要な支援を！



高山 ゆづ子 (みらい)

問／当市のヤングケアラーの実態と支援は。

答／令和4年度に県で実施した調査結果では、小学4年生から中学3年生までの当市の児童生徒で、6校14

世帯18人がヤングケアラーの疑いがあった。うち11世帯15人は既に適切な支援を受けており、残り3世帯3人に対しては、家庭環境に合わせた相談支援を開始した。今後も早期に発見し必要な支援に繋ぐことで、子どもが健やかに成長できるよう適切に対応したい。



車椅子の貸出し・市民サービスの向上を

問／市では旅行や通院、散歩など、短期間に車椅子が必要な場合、10日以内で貸し出すサービスを実施している。現在、市役所福祉課と各総合事務所で貸出しをしているが、南・北出張所や各地域自治区の公民館等、より身近な場所で貸出しできないか。

答／令和4年度の利用者数は79人で、多くの方から当該車椅子等の貸出しサービスに感謝の声が届いている。今後は利用者の希望に応じて、南・北出張所でも対応していく。他の場所については状況をみて検討したい。

